

(学校名) 広州日本人学校

学校・周辺環境



【学校について】

児童生徒数: 小学部330名、中学部70名
職員数: 教員33名、外国語講師6名、事務5名、警備員17名
4月始まりの3学期制です。

※写真は校舎吹き抜け部



【授業の様子】

子どもたちは素直で優しいです。
授業以外でもクラブ活動や運動会、修学旅行などの行事も盛んに行っています。
各クラスに電子黒板機能付きプロジェクターを設置、デジタル教科書も主要全教科に導入し、ICT化を図っています。
現地語と英会話はネイティブによる授業を小学部1年生から週に1～2時間行っています。
委員会は小学部5年生～中学部が合同で行っています。
クラブ活動は小学部4～6年生で月に1回実施しています。中学部の部活動も週三回行っています。

※写真は一般授業の様子



【主な行事】

1学期: 入学式、始業式、運動会、小学部修学旅行、夏祭り
2学期: 学習発表会、中学部修学旅行
3学期: 六送会、三送会、卒業式、終了式

※写真は卒業式の様子



【現地理解教育・国際交流】

小学部: 現地小学校との交流会
中学部: 近隣大学日語学科の学生との交流会
運動会: 台湾人学校との交流

※写真は現地小学校との交流会の様子

生活環境



【住居】

住居は学校が用意する外国人向けのマンションです。エレベーターを使用するのにルームキーが必要で、安全が確保されています。家具つきで大型家電等も設置されているため、最低限の身の回りのものがあれば生活できます。



【周辺のお店・病院等】

居住地の周辺には日本人医師や日本語通訳サービスのある病院もあります。また、飲食店やスーパーも多く、生活しやすい環境です。
近所の飲食店では1食250円程でローカルフードを食べることもできます。(日本料理屋や欧米料理屋は日本より高いこともしばしば。)

※写真は広州中心部を撮影したもの。思っているよりも都会であることが感じられると思います。居住場所はこの写真の中にあります。



【物価・休日・現地独自の文化等について】

携帯電話は通話とネットワーク込みで月1500円程度です。
 バスは30～60円、タクシー170円～、地下鉄30～120円程度で、日本に比べて安いです。
 休日は現地語を習ったり、海外ならではの、日本人のコミュニティも多く(スポーツ同好会や大学OB会、県人会等)自ら積極的に活動できる場があります。一方、せつかくの海外ということで、現地の方との交流や日本では見られないTHE中国を生で感じられる機会も多いです。

※写真は上部の写真を反対から撮ったもの。手前のスタジアムはサッカーアジアNO.1チームである広州恒大のホームスタジアム

応募者へのメッセージ

校長より

広州日本人学校では、「楽しい学校作り」を目指しています。「今日は学校が楽しかったよ。」と元気に明るく家に帰る子どもたちがほとんどです。それは、授業の充実と学級経営に重点を置いているからです。児童生徒は元気なあいさつで登校し、日々充実した学校生活を送っています。そんな子どもたちを支えているのはやはり先生方のやる気です。本校の教職員は大変前向きで、子どもたちのために労を惜しみません。子どもたちのためなら頑張れるという先生方ばかりで、お互いを高め合うこともできています。若い先生方には、先輩の先生方がつきっきりで指導したりアドバイスしたりする姿があちこちで見られるのも本校の特色だと思います。そんな広州日本人学校では、「子どものために頑張ろう。」という前向きな先生を求めています。元気があって前向きに取り組む先生、一緒に広州日本人学校で将来を担う子どもたちを育てていきましょう。

学校採用教員より

私の勤務する広州日本人学校は、小学生から中学生まで約400人の子どもたちが学んでいます。子どもたちもまじめで優しい子どもが多く、指導にやりがいを感じます。また、周りの先生方も日本全国からやる気と情熱を持った先生が集まり、多くの助言を頂き、先生として成長することができています。また学校行事も、日本の小学校と同じようにあり、運動会は小学生から中学生までが縦割りで4つのグループに分かれ、子どもたちが一生懸命に取り組み、盛り上がるのも日本人学校ならではです。日本人学校だからこそ出来ることがあるので、楽しんで働いています